

第2回家庭教育学級が開催されました！

第2回家庭教育学級を7月1日(金)尾倉中学校多目的室で開催しました。皿倉小学校、尾倉中学校の保護者の方々約30名が参加しました。お忙しい中、本当にありがとうございました。

家庭教育学級は、保護者が家庭で子どもの教育をする心構えや、子どもへの接し方、教育上の留意点など、家庭教育上の共通の問題を、一定期間にわたって、計画的に、継続して学習する場です。保育園、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校ごとに実施しており、企画・運営は主に主催者である市民センターとPTA、学校等が協力し実施しています。

今回の家庭教育学級では、まず2校時の授業を参観しました。どの学級も一生懸命に授業に参加していて「落ち着いていますね」「頑張っていますね」の声を聞くことができました。

次に多目的室で私(栗原)が講話を行いました。はじめに、スライドで1学期の学校行事等を紹介しました。続いて講演です。タイトルは、「子どもたちの未来を拓くために～これから求められる学力と高校入試・大学入試について～」です。内容は以下の8つの構成で行いました。

- ① 尾倉中校区について
- ② 学校教育目標等
- ③ 求められる力とは
- ④ なぜ今、教育が変わるのか
- ⑤ 2020年から教育が変わった！
- ⑥ 大学入試改革
- ⑦ 家庭に求められることは
- ⑧ おわりに(企業が求める人材像)

その中で、いくつか紹介したいと思います。

○ 未来をたくましく生きるために必要な力とは・・・

健やかな体(体力、食育)

確かな学力(基礎・基本、コミュニケーション能力・思考力・判断力・表現力・語学力等)

豊かな心 (思いやり、主体性、積極性、チャレンジ精神、協調性、柔軟性、思考力、洞察力、判断力、責任感、使命感、異文化に対する理解 等)

○ 小学校と中学校の現状

●問題をまとまりとして理解する必要がある(問題と解答の連続性)

●難しい問題(応用)への対応

●これから求められる力をつけさせるために授業の改善を

●高校入試への対応(一問一答では対応できない)※公立入試と私立入試との違い

○ 学校教育が変わる！

これまでは・・・

➡学んだことをきちんと理解しているか(知識・技能)※いわゆる読み、書き、そろばん

これからは・・・

➡知識や技能を習得することを前提として、それを基に「自分で考え、表現し、判断し、実際

の社会で役立てる」ことが求められる

○ ポートフォリオ「学びのアルバム」が大切な理由は

*「こんなことに気付いた」「次はこうしよう」を書き留め、振り返り、人に話すことによって、学んだことが定着し、次の学びへの意欲が高まる

*学びを記録することが習慣になると、できなかったことができるようになっていく、チャレンジの過程が蓄積されることになる。自分の成長が目に見えるようになり、「やらされごと」だった学びも、「自分のためになる、ワクワクする活動」になる

*ポートフォリオは、学びを自分ごとに変え、成長を楽しむためのツール

○ 子どもの未来を考えるとときに・・・(栗原の経験から)

- 親(両親・祖父母)の考えをそろえる
- 子どもの長を考慮する
- 親の考えを押し付けず、ぎりぎりまで子どもに任せてみる
- 学校の情報はこまめに手に入れる
- 兄弟は必ずしも同じではない
- 決めるときは家族全員で
- 愛情と過干渉の違いに親が気付くこと
- 自立と放任は違う
- 迷うときは(友達としてではなく)人生の先輩として話す



★話のあと、「スマホの使い方」「高校入試の仕組み」などについて質問がありました。お時間がある時はいつでも、気軽に校長室にお越しください。よろしくお願いいたします。

